

スポーツ体育健康科学 学術フォーラム

兼 日本スポーツ体育健康科学学術連合第5回大会

「体育・スポーツのインクルーシブな共生世界の未来を考える」

生物多様性に端を発するダイバシティへの対応は、今や、様々な組織・社会の健全性を考える際のメインファクターとなっている。このことは、体育・スポーツのコミュニティにおいても例外ではなく、多様なカテゴリーの人々をスポーツ・コミュニティに包摂するための理念や方策について、各国・各種団体等々において、真摯な議論が深められ適宜、個別の対応がとられるようになってきている。

本フォーラムでは、スポーツを通じたインクルーシブな共生社会の構築に向けてスポーツ・コミュニティ内部における多様性の包摂と共生（スポーツにおける共生）をいかに実現し、「競争・効率原理」と「共生・公正原理」の相互補完・同時達成への道すじについて、学際性・総合性を特徴とする体育・スポーツ科学の教育を通じたスポーツ・プロフェッショナル（スポーツ文化の後継者）の育成問題と関連付けながら検討する機会としたい。

- 主 催：日本スポーツ体育健康科学学術連合（JAASPEHS）
- 共 催：日本体育・スポーツ・健康学会（JSPEHSS）
- 後 援：スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター、
公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、
公益財団法人日本パラスポーツ協会、公益社団法人全国大学体育連合、
特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー、
全国体育系大学学長・学部長会
- 期 日：2024年1月20日（土） 13:00～17:00
- 開催形式：オンライン Zoom ウェビナー
- 参加費：無料
- 定 員：500名
- 申込方法：[申し込みフォームはこちら（別サイトに移動）](#)

【基調講演】

インクルーシブなスポーツ世界へ
～トランスジェンダー選手の参加の権利を手がかりに～
来田 享子（中京大学教授、JAASPEHS 副代表、JSPEHSS 会長）

【シンポジウム】

新時代のスポーツ・プロフェッショナル育成システムを考える

: 体育・スポーツ・健康科学分野における教育の質保障に向けて

- ◆ 体育・スポーツ・健康系大学・学部における入試制度の多様化と人材発掘の課題
: 特に多様性（競技能力、職種（する・みる・支える）、ジェンダー、障害等々）の確保について

松尾 哲矢（立教大学教授）

- ◆ 体育・スポーツ人材の養成カリキュラムと教育の質保証について

阿江 通良（筑波大学名誉教授、JAASPEHS 代表、元 JSPEHSS 会長）

- ◆ スポーツ専門人材の職業キャリアの多様化

長積 仁（立命館大学教授）

- ◆ プロフェッショナル育成に学会は何ができるのか？何をすべきか？

: 中学校「体育理論」から社会人大学院までを見通して

菊 幸一（国土館大学特任教授、前 JSPEHSS 会長、次期 JAASPEHS 代表）

コーディネーター：清水 紀宏（筑波大学教授、JAASPEHS 運営委員長）

指定討論者：來田 享子（中京大学教授、JSPEHSS 会長、JAASPEHS 副代表）

【全体統括】

宮地 元彦（早稲田大学教授、日本学術会議第 26・27 期連携会員）